

事業所名

こどもコミュニティールーム たいよう

児童発達支援支援プログラム

作成日

2025 年

2 月

26 日

法人（事業所）理念	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもたちの成長に寄り添い、社会性を高めていく。 ・こども・保護者・支援者間でのコミュニケーションを大切に。 					
支援方針	<p>こどもたちの成長ペースは様々です。ひとりひとりの特性に対する理解を深め、こどもが発信する言動からコミュニケーションを大切にサポートを進めていきます。集団活動での交流、個別対応の時間を通じて、五感を刺激し、楽しい、嬉しいの感情表現に繋がるサポートに努めます。「こどもたちの笑顔があふれる、笑い声が飛び交う楽しい居場所。」を目指して、日々のサポートを進めていきます。</p>					
営業時間	10 時	0 分から	17 時 45 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の体調チェック（検温）。 ・感染症予防として、手洗い・手指消毒の徹底。必要な時期においては、マスク着用を促す。 ・食事・排泄の基本的な生活リズムの確認。 				
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・スティックのり・カラーマジック・色えんぴつ等を使っての制作活動、積み木遊び、砂遊び等、手指の運動・感覚トレーニング。 ・体の動かし方、力のコントロールが身についていく運動（走る・ジャンプ・転がる・ぶら下がる・くぐる・よけるなど）を遊びを通じて経験していく。 				
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・各部屋に時計を設置。時間の概念定着に向け、声かけと時間確認を一緒に行う。 ・生活動作に繋がる内容の絵本の読み聞かせ等にて、生活行動 ・運動スペースの床面を2色（緑・紫）に分け、視覚による識別ができる環境を作る。災害訓練の際、色分けしたスペース（紫）に集まる。の認識に繋げる。 				
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで作れるおもちゃ（ニューブロック・レゴブロック・プラレール）を通じて制作活動を行う。物づくりの中でこども同士のコミュニケーションが生まれている。 ・物の貸し借りにおいて、「貸して」「いいよ」のやり取りができる。 ・適切なタイミングで言葉の発信できるよう、こども同士のコミュニケーションを傾聴しながらサポートに入る。 				
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動を通じて、協力し合って課題に取り組む。 ・プログラミング環境を整え、問題解決能力や論理的思考を磨く。創造性や芸術性などの非認知能力を伸ばしていく。 				
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家庭での困りごとに対する助言やサポート ・急遽利用への対応 		移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校、関係機関との連携 		
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・担当医（医ケア児）との連携 ・地域小学校・支援学校との意見交換 ・担当相談支援員・担当保健師との情報共有 		地域のスーパー等での買い物	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・施設外研修への積極的参加 ・施設内研修の実施 ・スタッフミーティング 	
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の製作活動 ・屋内・屋外活動 お正月（1月）節分（2月）お花見（3月～4月）こいのぼり（5月）プール遊び（7月～8月）コスモス（9月～10月）ハロウィーン（10月）クリスマス（12月） ・避難訓練（年2回） 					